

一般質問



長井地区の招魂碑



増えてきた回収BOX

世界の中では、今もウクライナをはじめ戦火が続いている。
日本は来年戦後80年の節目を迎える。多くの戦争



みづか おさむ
見塚 修 議員

戦後80年平和尊さ事業の計画は!! 戦没者追悼式を引き続き継続します

体験者が高齢化する中、本町でも、平和の尊さを途絶えさせない事業も必要だと考えている。

よって次のことを伺う。

- ① 本町の戦死者の数は。
- ② 町遺族会の会員数は。
- ③ 戦没者招魂祭の開催状況は。
- ④ 戦後80年平和尊さ事業の必要性と計画は。

町 長

① 旧香住町と旧村岡町は第二次世界大戦のみ、旧美方町は、日清戦争以降の戦死者を把握し、香住区718名、村岡区419名、小代区190名、合計1327名を

確認しています。
② 町遺族会の組織はなく、旧町毎に組織され、香住区197人、小代区54人、村

岡区は確認していません。
③ 招魂祭は香住区で佐津地区以外の4地区と小代区で実施され、村岡区は実施していません。
④ 戦後80年として特別な事業は計画していません。
各遺族会長の意見を考慮し、戦没者追悼式、子供平和映画祭を引き続き、継続します。



PTAは学校と家庭が連携し、子どもたちの学習環境を構築していくための重要な組織と思う。しかし、年々子どもの数が減り、合



みなみがき まこと
南垣 誠 議員

PTA活動の補助と負担軽減を 昨年も多くの学校へ補助金を交付しています

わせて会員数も減少し、役員や活動の当番が頻繁に回ってくるなど負担が増えている。その上で資源回収が貴重な収入源となつている学校もあるが、人手が不足し、車が出せない、子どもがいない集落もあるなど苦慮している。民間の回収BOXなどで回収量が減少したところもあるように思う。

資源回収に頼らず資金確保できるよう活動資金、予算の補助を。

教育長

PTA予算が減つたため、できていた活動、スキー教室や遠足が減つた学校はない。資源回収の結果を比較すると、小代区で僅かに、村岡区で大きく減少と結果が出た。村岡区では近年急速に古紙回

収の施設が増え、その影響が少なからずあるのではないかと。
町 長 子どもたちの様々な体験や活動が学校行事として実施されるのであれば、その費用は支援をするが、任意団体であるPTAに対してさらなる支援をすることは考えていない。

